

## 《女川町商店街復幸祭2013に参加しました》

3月24日、「女川町商店街復幸祭2013」（主催：女川町商店街復幸祭2013実行委員会）が女川第一中学校を会場に開催されました。

当日は、ご当地ヒーロー「リアスの戦士イーガー」ショーをはじめさまざまなステージが繰り広げられたほか、地元飲食店による浦宿駅の再開を記念したお弁当の販売や焼きサンマ3000匹が無料で提供されるなど、多くの来場者で賑わいました。

当発電所もイベント会場に当社のキャラクターである“マカプゥ”を登場させるとともに、大型遊具「ふわふわマカプゥ」を設置し、訪れた子どもたちに喜ばれました。



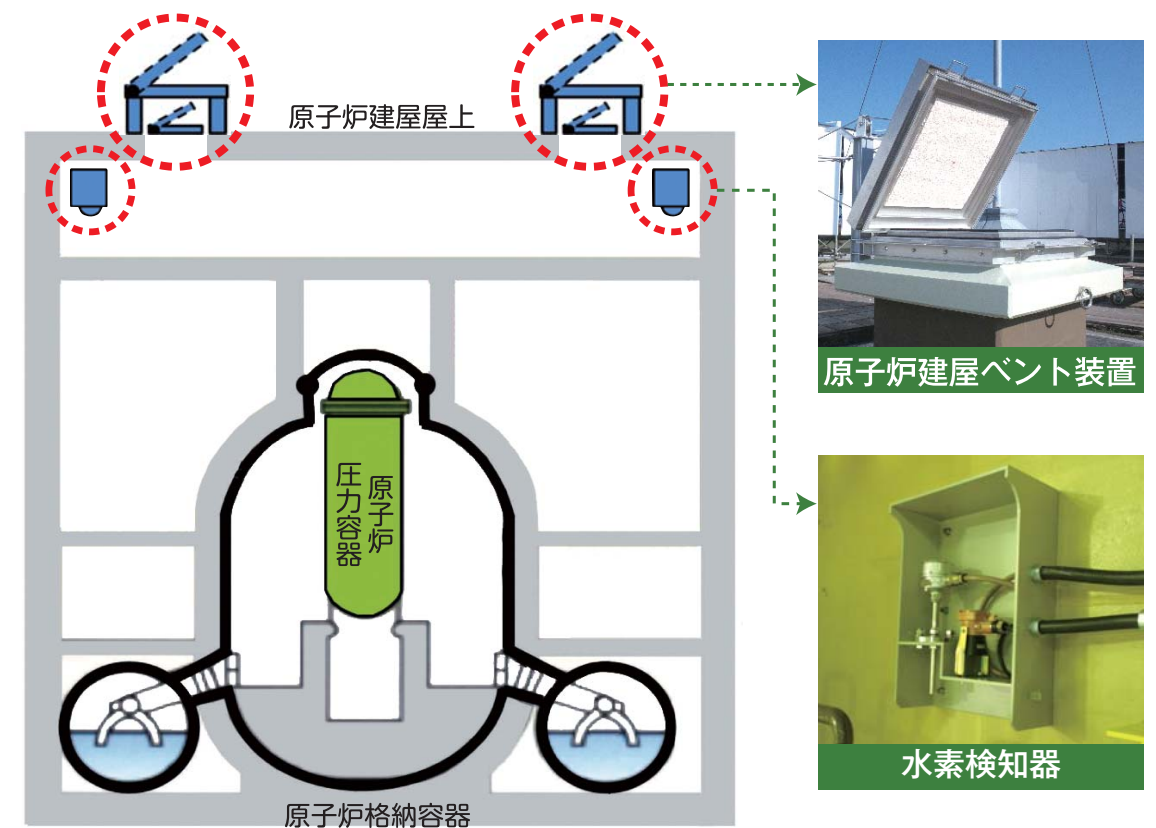
## 《原子炉建屋ベント装置、水素検知器を設置しました》

1号機から3号機までの各号機の原子炉建屋屋上に『原子炉建屋ベント装置』を2カ所ずつ設置しました。

当発電所では、炉心損傷等の重大な事故を未然に防止するため各種安全対策を重ねてきていますが、同装置は、万一、炉心損傷等が発生した場合でも、水素爆発を起こすことのないよう原子炉建屋内に滞留した水素を迅速・確実に外部へ放出するためのものです。

また、あわせて工事を進めていた原子炉建屋内の水素濃度を測定するための『水素検知器』も各号機に2カ所ずつ設置しました。

### 原子炉建屋ベント装置等設置イメージ（原子炉建屋断面図）



## 《寄磯小学校PTAの皆さんを対象に放射線出前講座を開催しました》

3月1日、石巻市立寄磯小学校にて、同校のPTAの皆さんを対象とした放射線出前講座を開催しました。

当日は、東北放射線科学センターより講師を招き、放射線の基礎的な講義を実施したほか、測定器を用いた身の回りの放射線の測定実験なども行いました。





## 《原子力事業者防災業務計画を修正しました》

当社は、東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、原子力災害対策特別措置法が改正されたことに基づき「女川原子力発電所原子力事業者防災業務計画※」を宮城県、女川町、石巻市の立地自治体と協議のうえ、3月18日に修正しました。



具体的には、これまで緊急時等に、立地自治体にのみ通報連絡していたものを、発電所から半径30キロ圏内にある登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町へも通報連絡することにしました。

このほか、発電所の災害対策を支援するため発電所の外に設置する支援拠点の選定や重大事故を想定した訓練の実施等についても新たに盛り込んでいます。

当社といたしましては、今後とも、原子力防災体制の整備に万全を期してまいります。

※「原子力事業者防災業務計画」は、原子力災害対策特別措置法に基づき、原子力災害の発生および拡大を防止するために必要な業務を定め、業務が的確かつ円滑に行われることを目的に、原子力事業者が原子力事業所ごとに定めているもの。

## 《宮城県等が主催する原子力防災訓練に参加しました》

3月22日、宮城県等関係自治体※が主催する平成24年度原子力防災訓練（緊急時通信連絡訓練）に当発電所も参加しました。

今回の訓練では、当発電所では設備被害が発生しないものの、宮城県内で震度6弱の地震が発生したとの想定から、このたび修正した「女川原子力発電所原子力事業者防災業務計画」に基づき、関係自治体へ警戒事態発生の通報連絡を行いました。



※ 宮城県、女川町、石巻市、登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町

## 《1号機 非常用ディーゼル発電機の自動停止について》

3月14日昼頃、1号機において2台ある非常用ディーゼル発電機※のうち1台の定期運転試験を行っていたところ、所内電源の周波数のゆらぎの影響を受け、自動停止するという事象がありました。翌15日早朝には、使用できる状態に復旧しました。

なお、この間も所内の電源は確保されており、原子炉や使用済燃料プールの冷却に影響を与えるものではありませんでした。

また、本事象による外部への放射能の影響もありませんでした。

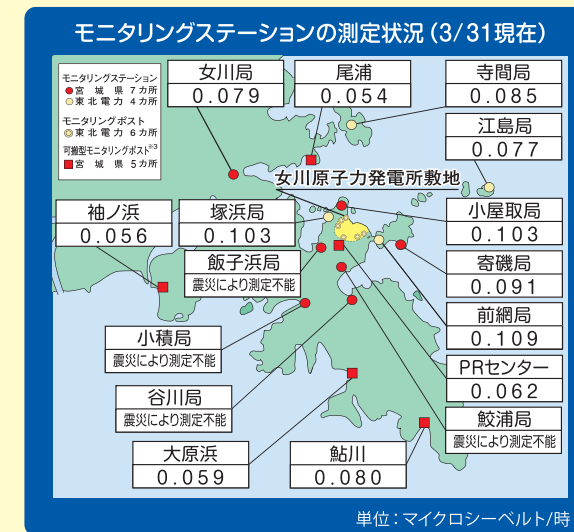
今後は、周波数のゆらぎの影響を緩和させるよう運転手順の見直しを行ってまいります。

※非常用ディーゼル発電機は外部電源（送電線からの電気）が停止した場合に、発電所内で必要な電力を供給するもので、1カ月に1回運転試験を行っている。

## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.081マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



モニタリングポストの最小値と最大値

年	日	測定値 (μSv/h)
平成23年	3月11日	0.027~0.064
	3月13日	1.8~21 <sup>※4</sup>
平成24年	10月1日	0.057~0.088
	11月1日	0.057~0.081
	12月1日	0.057~0.078
平成25年	1月1日	0.055~0.076
	2月1日	0.053~0.073
	3月1日	0.055~0.077
	3月31日	0.054~0.081

単位：マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日（平成23年3月13日）の値、至近6カ月の値を掲載しています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。